

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



今年の夏は平年より暑い予報です。 暑熱対策をしっかりと、夏を乗り越えましょう！！

今年も暑い夏がやってきます。家畜の秋以降の生産性の向上には、「暑い夏をどのように乗り切るか」が大きく影響します。

家畜が健康で快適に過ごせる環境をつくり、生産性の低下を防ぎましょう。

〈暑熱による影響：肉用牛〉

通常、体の熱産生と損失のバランスによって家畜の体温の安定性が保たれています。しかし、著しい気温の上昇により、このバランスが崩れてしまい、死に至るケースもあります。夏は、その他の季節より繁殖成績の悪化や発情行動の微弱化などがおこり、経済的損失にもつながります。

採食量の減少

受胎率の低下

AI回数の増加、
初回AI日齢の遅延

1,000円/日の損失

暑熱ストレスによる
家畜の変化

体温の上昇

泌乳量の減少

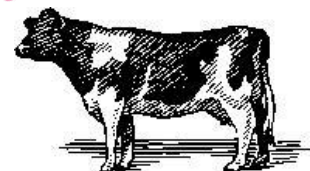
子牛の増体率の
低下

2,000円/日の損失

〈暑熱対策① 畜舎環境面から〉

- 屋根の日射反射率を高くする（石灰塗布）
- 断熱材の利用
- よしず、寒冷紗、屋根散水
- 送風機（送風機の向きは、床面に対し30°、高さ3m、間隔4m）
- 扇風機（出来るだけ低い位置で家畜の肩中心に）
- 換気扇（換気扇を清掃するだけで風力が50%アップ）
- ミスト散布（頻度に注意！）
- 毛刈り

※冷却効果は水→風の順で効果がありますが、散水しすぎて湿度が高くなると実際に家畜が感じる温度(体感温度)が上昇し、暑熱ストレスを受けやすくなるので散水・細霧と送風を使い分けることが大事です。



【暑熱対策具体的事例の紹介：牛舎屋根への石灰塗布】



効果：牛舎内温度が塗布前と比べ約5℃低下



- 夏場の採食量が増えた→枝肉重量が増加
- 夏場の飼養管理がしやすくなった

(社団法人中央畜産会 暑熱対策リーフレットより引用)

〈暑熱対策② 飼養管理面から〉

- 密飼いをさける。
- 熱源となる家畜の糞の除去。
- 新鮮な飼料を数回に分けて与える。
(餌を食べると熱が発生するので早朝や夜間に)
- 必要に応じ、重曹（呼吸性アルカローシスの対処）やビタミン・ミネラルを与える。
- 冷たく新鮮な水を与える。
- 家畜を興奮させるような作業（ワクチン接種、畜舎の見回り等）は早朝、夜間に行う。

暑熱対策は、温度管理だけでなくビタミン・ミネラル補給、新鮮な水・良質な粗飼料給与など一般の飼養管理が重要です。また、畜舎内温湿度記録（畜舎の牛の高さに温湿度計を！）、個体体温測定などによる早めの対応も重要です。

対策を組み合わせると効果的です。早めの措置で夏を乗り切りましょう！

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

| 病名 | 型 | 発生地（国） | 畜種 | 発生年月日 |
|------------------|--------------|--------|-------------------|----------------------|
| 高病原性 鳥インフルエンザ | H5N2 | 台湾(8件) | 肉用あひる・肉用がん・ 地鶏 | 平成30年5月14日 ～6月22日 |
| | H7N9 H5N1 | 中国(2件) | 採卵鶏・ブロイラー | 平成30年5月22日～6月12日 |
| 口蹄疫 | O型 | 中国(2件) | 牛 | 平成30年5月20日～6月5日 |

平成30年7月1日現在



毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

